

# 診療所例会 (Web 配信)

●日時：令和6年11月20日(水) 18:45~20:30

●参加費：会員（東京都病院薬剤師会・日本病院薬剤師会・東京都薬剤師会）…… 800円  
非会員 …… 1,600円

※受講の受付・参加費の支払いはWEB決済システム「イベントペイ」を使用します。

## ●プログラム

1. 18:45~19:00 情報提供

「IBDの国内治療指針と海外ガイドラインにおけるエンタビオの位置づけ」武田薬品工業(株)

2. 19:00~19:45 特別講演Ⅰ

『薬剤師に知ってほしいIBD診療 基礎治療薬と副作用/他疾患との鑑別について』

東京科学大学病院 光学医療診療部 助教 日比谷 秀彌 先生

(現：東京医科歯科大学病院 光学医療診療部)

3. 19:45~20:30 特別講演Ⅱ

『薬剤師に知ってほしいIBD診療 アドバンス治療と副作用/日常生活の注意点』

東京科学大学病院 光学医療診療部 助教 河本 亜美 先生

(現：東京医科歯科大学病院 光学医療診療部)

●申込URL：[https://eventpay.jp/event\\_info/?shop\\_code=9710578846909564&EventCode=6972696749](https://eventpay.jp/event_info/?shop_code=9710578846909564&EventCode=6972696749)

●申込締切：令和6年11月10日(日) (定員に達し次第受付終了)

●募集人数：100名 (先着順)

●受講認定(予定)：日本病院薬剤師会の認定単位 1単位 (研修番号V-2)



## ●注意事項：

- ・受講の受付・参加費の振込に関しては「イベントペイ」からメールが届きます。ドメイン指定等されている場合は「@eventpay.jp」ドメインのメールを受信できるよう、事前に設定をお願い致します。
- ・Zoomを使用したWeb配信となります。安定した通信環境が準備できる場所で視聴してください。尚、受講者側の通信環境の影響で接続ができない場合については、当会で責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・視聴にかかる通信費は、受講者自身でご負担ください。
- ・当日の視聴URLは、受講が確定した方のみメールで連絡いたします。
- ・研修単位は、従来の研修シールが廃止となり、日病薬病院薬学認定薬剤師研修支援システム「HOPESS (ホープス)」で取得できるようになりました。
- ・HOPESSは、日本病院薬剤師会会員管理システムの「薬剤師名簿登録番号」で紐づけされます。研究会開催までに、会員管理システムマイページにログインして、メールアドレスと薬剤師名簿登録番号を登録してください。
- ・HOPESSから他プロバイダー(日本薬剤師研修センター等)で使用する受講証明書を取得することができます。
- ・研修単位認定のため、受講者のログイン・ログアウトタイムを管理いたします。
- ・不測の事態等により研究会が中止になる場合は、東京都病院薬剤師会ホームページにてお知らせいたしますので必ずご確認ください。

## 【講演要旨】

IBD（炎症性腸疾患）である潰瘍性大腸炎およびクローン病の患者数は、増加傾向にあります。

IBDは原因が解明されておらず、完治させる治療法がありません。

寛解と再燃を繰り返す為、治療においては炎症をコントロールし寛解を維持することが重要になります。

近年病態の解明が進んだことで、治療方法も進歩しています。

11月例会では、IBD治療のエキスパートでいらっしゃるお二人の先生に

「潰瘍性大腸炎・クローン病 診断基準・治療指針（令和5年度改訂版）」

に基づき、ご講演いただきます。

特別講演Ⅰの日比谷先生には、

IBDの基礎治療薬として用いられる5-ASA製剤やステロイドの適応と副作用等をお話しいたします。

また、IBDと他疾患の鑑別についても解説していただきます。

特別講演Ⅱの河本先生には、

近年次々と上市されている生物学的製剤の適応や副作用等および日常生活での注意点についてお話しいただきます。